



**\* 1500号記念特集**

- \* 没後35年 鴨居玲展
- \* 秋期市職員採用試験
- \* 新型コロナ感染拡大
- \* 国勢調査
- \* 地域共生社会の実現

昭和28年2月1日に広報紙が発行されて67年7カ月。今号で1500号を迎えました。「市民の皆さんと市役所をつなぐ情報紙」として、これからも歩み続けます。

新型コロナウイルスの影響で、掲載している内容などが変わる場合があります。市ホームページ、問い合わせ先で確認してください



市ホームページ  
0941-71

広報くるめ 1500号記念特集 ———— 市政広報紙の67年の歩み

# 郷土の姿を伝えたあの日、あの時



平成19(2007)年  
8月15日号

田主丸の巨峰開植50周年を記念した特集号。広報紙で初の特集は、県広報コンクールで入賞



平成20年ごろまでマッキントッシュを使用。慣れない操作に苦労しました

昭和61(1986)年  
4月1日号

タブロイド版からA4版の現在の形へ。市民からの投稿「みんなの広場」がスタート



平成11(1999)年  
11月1日号

発行1000号を記念して「広報くるめ」に



平成7(1995)年  
1月1日号

新市庁舎の完成を記念して特集号を発行



平成元(1989)年  
4月1日号

市制施行100周年号は初のフルカラー



昭和58(1983)年9月1日号

昭和56年の着工から完成までを掲載した西鉄東口再開発。久留米商業高校が夏の甲子園でベスト4に



昭和28(1953)年  
7月20日号

6月26日に未曾有の豪雨で筑後川が決壊。濁流が全市域を飲み込みました。担当者は3週間以上泊まり込みで取材をしました



昭和31(1956)年5月5日号

4月に石橋文化センター開園。紙面3ページを使って開園の様子を紹介。プリヂェストーン創業者・石橋正二郎氏の寄贈で「夢の贈り物」といわれました



昭和28(1953)年  
2月1日創刊号

第1号は新聞判型のタブロイド版で4ページ、月1回の発行でした。自治体が広報紙を発行するのは、当時は珍しかったそう



昭和28年2月1日に「市政くるめ」第1号発行。今号で1500号を迎えました。時代と共に形を変え、歴史を刻んだこれまでを振り返ります。  
☎0942309119、FAX0942309702



議会事務局 新村利恵さん  
平成21年1月15日号表紙「鬼夜」が、全国広報コンクール写真部門で入賞3席となる快挙を成し遂げました

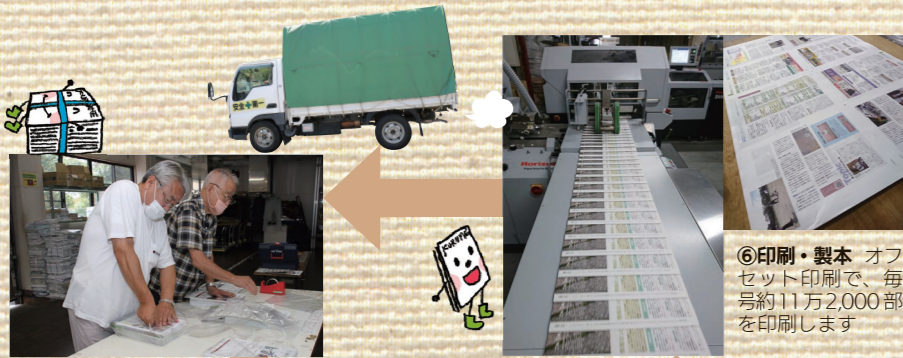
楽しみながら制作  
今はデジタルカメラが全盛ですが、平成17年ごろは、まだフィルムカメラで、現像してみないと使えるかどうか分かりません。表紙の撮影はいつもブレジャーとの闘い。だからこそ「楽しむ」ことを意識して制作していました。作り手が楽しい記事は、読む人もつまらないはず。皆さんにページをめくってもらえて価値があるんです。19年に巨峰開植をテーマに初の大型特集を企画。「二つの記事に8ページも使うなんて」と、周りからの反対もありました。でも、どうしても読んでもらえる広報くるめを作りたいかったです。田主丸の巨峰園にも通い詰めました。今号は面白かったと、声を掛けてもらったときのうれしさを覚えています。今は、広報くるめがいちファンとして、楽しく読んでいます。



平塚武彦さん  
19年間で一般職から主査、課長へ。広報担当職員で最も在職歴が長く、広報紙の歴史を見続けました

当時を振り返って  
広報紙は市の「歴史書」  
昭和46年から19年間、広報紙の編集に携わりました。皆さんの温かい支援でどうにか全うできたことを、今でもうれしく思います。当時は、印刷が「活版」から「写植」へ変わるなど、社会のさまざまな分野で技術革新が進んでいました。広報に対する考え方もCMからPRへと変化。市民の皆さんとの対話を通じて作るという意識になっていった時代で、市民参加型の広報紙作りを目指しました。そこで、タブロイド版から親しみやすいA4版へと形を変え、後に名称も「市政くるめ」から「広報くるめ」に。広報紙は、地域の姿を克明に記録する市の「歴史書」。今後、市民意識の多様化や情報技術の高度化といった社会変化の中でも、変わらず市民と行政をつなぐものとして、さらなる充実発展を願っています。

月2回発行・広報くるめ制作の舞台裏  
皆さんの手元に届くまで



⑥印刷・製本 オフセット印刷で、毎号約11万2,000部を印刷します



⑦仕分け・自宅へ配布 広報連絡担当者から各自治委員に渡されます



⑧仕分け・配送 シルバー人材センターで各校区の広報連絡担当者ごとに仕分けします



⑥印刷・製本 オフセット印刷で、毎号約11万2,000部を印刷します



⑦仕分け・自宅へ配布 広報連絡担当者から各自治委員に渡されます



⑧仕分け・配送 シルバー人材センターで各校区の広報連絡担当者ごとに仕分けします

制作はパソコンで  
月2回の編集会議や、各課との打ち合わせを重ねて内容を決定。取材、撮影、デザインやイラストなどを手分けしてこなします。パソコンの専用ソフトで編集し、デジタルデータを印刷業者に。印刷、仕分け後、各世帯に配布されます。発行には多くの皆さんの協力があります。

スタート!



①編集会議 3号先までの記事の確認、取材担当者を決定します



②インタビュー・写真撮影 担当課との打ち合わせ後、広報戦略課の職員がインタビューや写真撮影を行います



③記事の制作 ページごとに、レイアウトを決め記事を作成します



平成28(2016)年4月1日号  
4月27日、新ランドマークとして久留米シティプラザがオープン。ふるさと特別大使の田中麗奈さんを表紙に、8ページにわたる大型特集で、プラザの魅力を紹介しました



平成17(2005)年2月5日号  
久留米市、田主丸町、北野町、城島町、三漕町が合併。記念号として、2月1日の発行日を合併した日の5日に変更しました

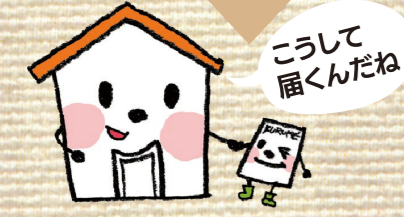


令和2(2020)年5月1日号  
新型コロナウイルス感染症の発生で、支援策などを紹介。保存版の対策冊子を付けました



平成30(2018)年11月15日号  
「ものづくり大国の意地」をテーマに10ページの大型特集。ゴム産業を原点に、人との交流、精神の伝承に迫りました。県広報連絡会審査会広報紙部門1位

平成23(2011)年4月1日号  
3月12日に九州新幹線久留米駅が開業。3月1日・15日号の3号にわたり開業イベントや新駅を紹介



こうして届くんだね



市ホームページには音声版も



市公式LINEで発行のお知らせ



LINEで「久留米市と友」になる  
詳しくはQRコード

デジタルと融合  
多くの皆さんに情報が届くように、デジタル媒体を使った配信を行っています。市ホームページやFacebook、LINEを導入するなど時代の流れにあわせてデジタル化を進めています。広報くるめのQRコードからホームページへのリンクも、過去2年分の広報くるめも市ホームページで見ることができます。

広報くるめのこれから



地域福祉課 秋山太さん  
7年間で合計167号、700を超える記事を作成。企画や写真、インタビューを得意とし、多くの大型特集を担当しました

市民と市役所の架け橋  
広報の仕事を始め、全国広報コンクールの受賞を見て、こんなに素敵な広報紙があるのかと衝撃を受けたのをよく覚えています。以降、「読みたくなる広報」を目指して必死に作り続けました。半年に渡り取材を重ねた認知症特集。県で1位に選ばれた号のものづくり特集、昨年11月の地域共生社会の特集。それぞれに大切な出会いがありました。特集だけでなく7年間で多くの人と出会い、私を知ってくれる人が増えるにつれてできる事は増え、やるべき事も見えてきました。市民の皆さんとの接点が広報活動の財産で、根っこだと私は思います。取材や制作を通して、そして紙面を通して「心援けし合える関係」が増えることが大切。その力が広報紙にはあると信じます。市民の皆さんと市役所が、広報くるめを介してコミュニケーションできる「かけ橋」のような存在に育っていくことを願っています。

ボランティアの皆さんに支えられて

# 「点字」や「声」で届ける広報

技術向上を目指しながら

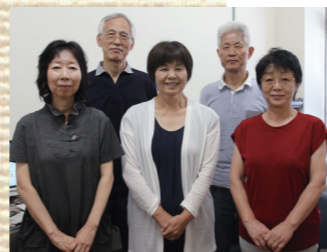
市は、視覚や聴覚に障害がある人にも  
広報紙を届けるため、「点訳版広報くる  
め」と「音声版広報くるめ」を発行して  
います。制作を担うのはボランティアの  
皆さんです。研修などを繰り返し、正確  
で分かりやすい広報紙作りを心掛けてい  
ます。

点字や声の「広報くるめ」を支えてい  
る皆さんを紹介します。

点字の変換時に記事  
の内容が変わって  
いないか入念にチェック



点訳版は「パソコン点訳  
コミュニケーションの会」  
の皆さんが担当しています。  
文章を点字に変換し、  
誤字脱字などをチェック。  
点字プリンターで印刷、製  
本し、利用者に郵送しま  
す。障害者福祉課や各総合  
支所、図書館、えーるピア  
久留米にも置いています。



パソコン点訳コミュニ  
ケーションの皆さん



点訳版  
広報くるめ



CD版声の広報くるめ。  
デイズという専用の機  
械で聞くことができます

音声版は録音ボランティアの皆さんが、毎号順番  
で録音しています。「こだま」、「光の輪」、「コスモス」  
の3団体です。読み間違いがないか何度も聞き直  
します。「CD版」と「カセットテープ版」を作成し、  
利用者に郵送します。市ホームページでも聞くこと  
ができます。毎年、外部の講師を招いて講義を受け、  
質の向上を目指しています。



こだまの皆さん



コスモスの皆さん



読む速さや、イントネーションに気  
配りながら録音

## インタビュー



# 私にとっての広報くるめ

## 取材のヒントに

### 久留米は情報の宝庫

希望して久留米総局に赴任しまし  
た。本誌で先輩記者たちが「久留米  
は面白い。読者との距離が近いよ」と  
言っているのを幾度となく聞いて  
いたので、着任してみると、やはり  
皆さんからのネタの提供や問い合わせ  
が多いんですよ。市民が地域に関  
心を持っている証拠ですね。

久留米に来て3年目。知らないこ  
とばかりで広報くるめからネタを  
拾うこともあります。昨年11月15日  
号に掲載されていた住宅型有料老人  
ホーム「こがケアアベニュー」の記  
事に興味を持ちました。広報くるめ  
では伝えられないことを、もっと深  
く伝えられないだろうかと思い、取  
材を重ねて連載で取り上げたこと  
も。同じ地域の情報を取り上げてい  
るので取材のヒントになります。

魅力的な人が  
多いまち



西日本新聞社久留米総局  
平峰麻由さん

平成29年西日本新聞入社。平成  
30年久留米総局に赴任。今年8月  
から市政担当記者として活躍

り、記録や思い出、証拠にもなりま  
すよね。なので、しっかり取材して  
書きたいんです。

### 時間がたっても残る責任

記者になった頃は、多くの人に情  
報が届けば、SNSもあつたと思っ  
ていました。でも、たくさんの人と  
出会い、色々な話を聞く中で変わ  
りました。記事を手帳に挟んでくれる  
人、「この記事良かったよ」と言っ  
てくれる人、新聞が届くのを楽しみ  
に待っている人がいます。発行した  
ら、修正ができない紙だからこそ、  
記事に対しても本気で取り組むし、  
読む人の期待に応えられるものでな  
ければならないと思っています。

## たくさんの人と知り合えた

「情報ほっとライン」で参加した  
いイベントを見つけたら、申し込み  
を忘れないように切り取ってカレン  
ダーに貼っています。城島インガッ  
トホールであった子ども演劇を見て  
演劇が好きになり、シティプラザの  
「小松杏里くるめ演劇塾」にも参加し  
ました。たくさんイベントの中  
でも楽しかったのは、バードウォッチ  
ングや木琴作りです。初めて会う人と

もすぐに仲良くなって、LINE 友達  
にもなっています。神社や遺跡に興  
味があるので、色々教えてもらいな  
がら歴史や文化財スポットを回るイ  
ベントがあるとうれしい。新しい発  
見があったり、たくさんの人と知り  
合えたりしたので、広報くるめを読ん  
でいて良かったと思います。裏表紙  
の「これ、知ってる!？」のネタも好  
きで、毎号楽しみにしています。

## 毎号届くのが楽しみ



榎原中学校1年  
竹下希和さん

## 覚えていきますか? こんな記事



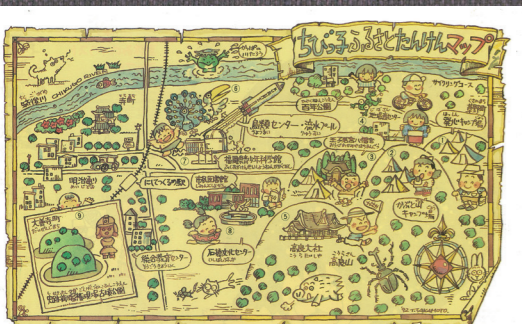
【くるめんもん】平成19年7  
月1日から全33回シリーズ。  
旬の農産物、料理レシピを紹介



【4コマで描く聞こえない世界】平成  
30年11月15日号。聴覚に障害があ  
る漫画家平本龍之介さんを紹介



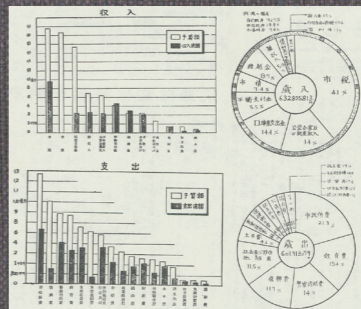
【久留米ラーメン誕生80年】  
平成29年10月1日号。とん  
こつラーメン発祥秘話を紹介



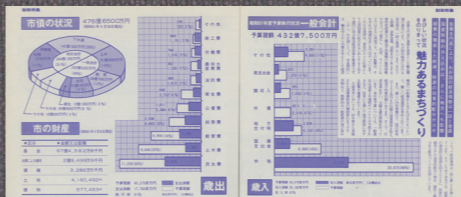
【夏休み特別号】平成4年7月15日号。  
イベント、おすすめ遊び場を紹介

## 財政記事の今昔

広報くるめは、毎年必ず掲載する記事  
があります。市の財政状況や税金の使い  
方を知らせる「予算」「決算」です。見  
出しやグラフを使いながら、分かりやす  
くなるように、毎年工夫をしています。



昭和28年12月号。広報紙で初めての  
予算記事。円・棒グラフは手書き



昭和61年12  
月15日号別冊。  
「市の台所」  
と題した財政  
特集号を発行



平成26年10月15日  
号。くらっばが決算の  
注目ポイントを紹介

# 没後35年 鴨居玲展

## 静止した刻とき

人間の内面を見つめて描いた作品を  
彼の人生の軌跡とともにたどります



パリ時代の鴨居 1975年

### ■鴨居玲

昭和3(1928)年石川県金沢市に生まれる。1946年に金沢美術工芸専門学校の洋画専攻一期生として入学、宮本三郎に師事。在学時から二紀展に入選。1971年にスペインに移り、転居を繰り返し、パリで個展を開催。1977年に神戸に戻る。やがて体調を崩し、入院を繰り返す。1985年9月7日57歳で自らの人生に幕を下ろした

### 時流に翻弄される若き画家

9月12日(土)から「鴨居玲展」が市美術館で開催されます。没後35周年を記念した回顧展で、絵画や遺品など101点を展示。鴨居玲の生涯とともに、彼の作品を3章構成で紹介します。市美術館学芸員の森智志さんに、見どころを聞きました。

鴨居の青年期は、日本の画壇に抽象の風が吹き荒れた時代。若き鴨居は、時流に流されて抽象画を描きます。一定の評価を得たものの、流行になじまない鴨居にとっては、不本意な制作に悩み苦しむ日々でもありました。転機となったのは、友人を頼り単身で渡ったブラジル時代。同年代の画家、ラファエル・コロネルの作品と出会い、具象絵画の可能性を見いだした鴨居は時流に逆らい、具象絵画の世界に再び転じることとなります。「赤い老人」は、そ

### 画風の確立と表現の変化

1971年、鴨居はスペインに渡ります。彼が親しみを込めて「私の村」と呼んだバルデペーニヤスに、約9カ月滞在。生涯で最も充実した日々を送ります。しかし、ひとつの場所に落ち着かない性格で、その後もパリに転居するなど各地を転々としてきました。この間素朴で人懐こいバルデペー



《静止した刻》1968年 東京国立近代美術館蔵



《1982年 私》1982年 石川県立美術館蔵



《赤い老人》1963年 石川県立美術館蔵



《酔って候》1984年 石川県立美術館蔵

ニヤスの村人たちの付き合いや、人間くさいモデルたちとの出会いで作品に大きな変化が。「静止した刻」のような、不自然なほど大きく描かれた手は次第に目立たなくなり、一方で、時にユーモアさえ感じられるほど表情が豊かになっていきます。何よりも重要なのは、鴨居がモデルに自分を投影して人間を描くようになったことです。「私たちを借りるだけで、私の中で作り上げた人間なんです。つまり、私の自画像のようなものですね」と鴨居本人が語っています。痛々しいほどの孤独を露呈する「私の話を聞いてくれ」などの作品に登場する人物は、村人の姿を借りた鴨居自身の姿にほかなりません。

### 再び苦悩、そして終焉

鴨居は1977年、神戸に移ります。新しく取り組んだ題材は、裸婦や女性。



市美術館学芸員の森智志さん

市美術館「鴨居玲展 静止した刻」へ

詳しくはQRコード



新たなシリーズにつながる成果はあったものの、鴨居自身が納得する作品にはなりません。本人が登場する作品が多くなったのもこの時期です。代表作の「1982年 私」では、白いカンバスを前にぼうぜんとする鴨居の周りを、これまで描いてきたモデル達が囲みます。横幅が2m50cmを越す大作で、「自画像の画家」鴨居玲の集大成であるといえるでしょう。人の弱い部分を直視して「人間とは何か？」を正面から受け止めた鴨居の作品は、生や死の極限的なものを私たちに突きつけます。

〒久留米市美術館 (☎0942・39・1131、FAX0942・39・3134)

### 開催情報

■会期 9月12日(土)から12月6日(日)までの10時～17時。入館は16時30分まで。月曜は休館。9月21日(木)、11月23日(木)は開館。受け付けは1階 ■入館料 一般1,000円、65歳以上700円、大学生500円、高校生以下無料。前売り券600円。チケットぴあ、ローソンチケットで販売

### 石橋正二郎記念館

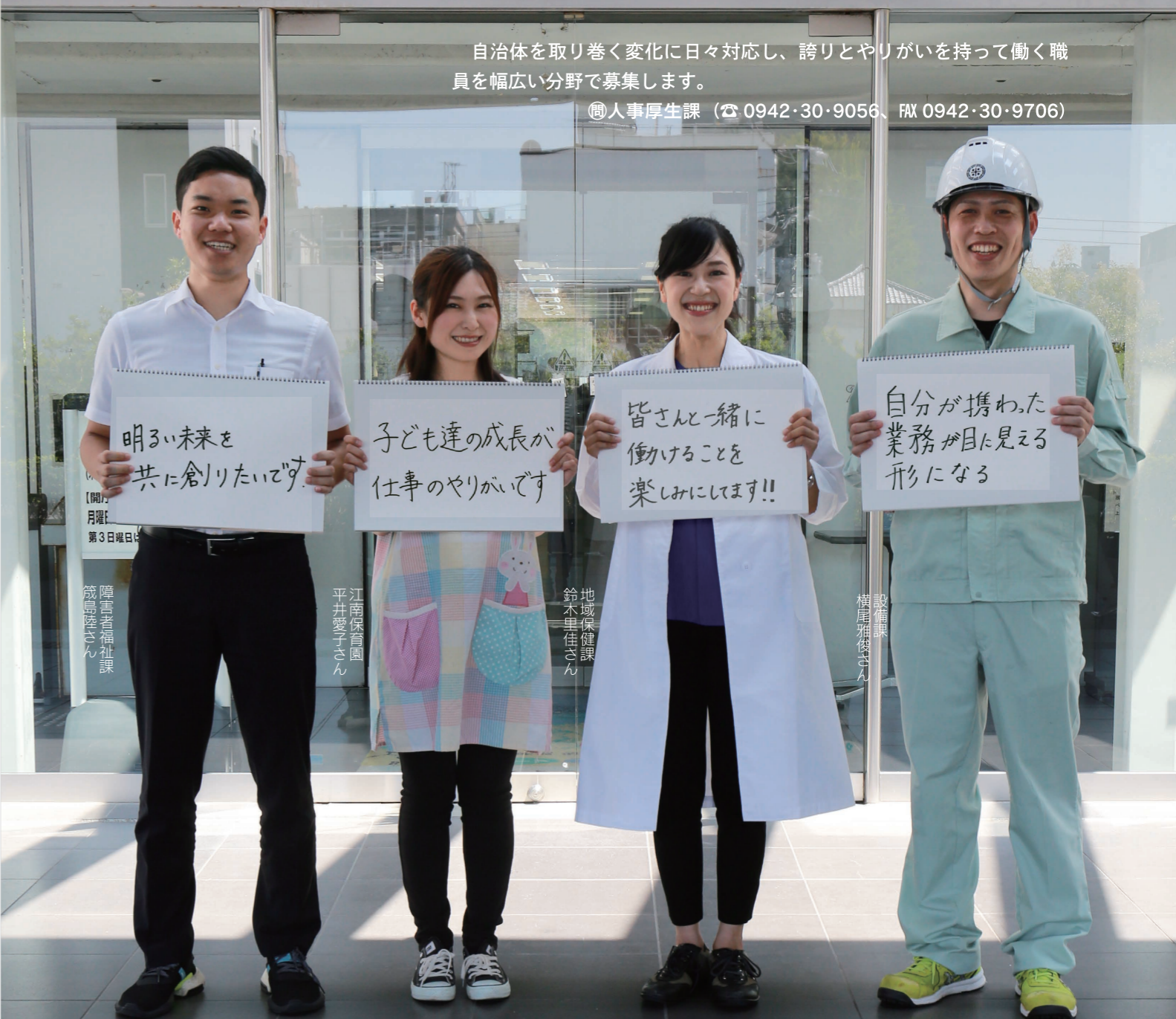
郷土久留米の発展に尽力した故石橋正二郎氏の歩みや人となり、建設寄贈された石橋文化センターの60余年の歴史を紹介。同館展示室奥のガラスケースには故石橋正二郎氏ゆかりの作品を展示しています。9月12日(土)から12月27日(日)まで「石橋正二郎と青木繁」のテーマで、青木繁作品について紹介

# 秋期 久留米市職員採用試験

## 久留米の未来をあなたと

自治体を取り巻く変化に日々対応し、誇りとやりがいを持って働く職員を幅広い分野で募集します。

◎人事厚生課 (☎ 0942・30・9056、FAX 0942・30・9706)



【募集職種・採用予定人数】Ⅰ種民間等経験枠・事務職 4人。事務職(福祉) 2人。情報職 3人。保健職 3人。栄養職 1人 Ⅱ種化学職 2人 Ⅲ種保育職 1人 Ⅲ種事務職 1人。土木職 1人 Ⅲ種障害者対象・事務職 1人

【1次試験・会場】Ⅰ種民間等経験枠は9月26日(土)～10月11日(日)・全国のテストセンター。Ⅱ・Ⅲ種は

9月27日(日)・南筑高校。Ⅲ種障害者対象は10月2日(金)・えーるピア久留米

【申込方法】電子申請、または郵送。詳細は市ホームページに掲載

【試験案内】案内チラシは、人事厚生課、本庁舎1階総合案内、各総合支所地域振興課、各市民センター、市立図書館などに準備。市ホームページからもダウンロードできます。郵送請求も可

詳しくはQRコード

市ホームページ「令和2年度秋期久留米市職員採用試験の概要」へ

市の紹介・先輩職員のインタビューを配信中  
マイナビ2021特設サイト「久留米市役所」へ

詳しくはQRコード

### コロナに負けない!

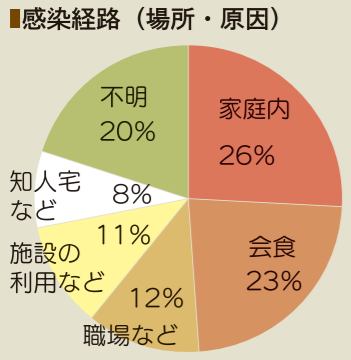
## 自分は大丈夫と思わないで

### 若者を中心に感染拡大

7月17日から久留米市内で新型コロナウイルスの感染者が再確認され、若い世代の感染が増えています。若い人は症状が現れにくく、感染しても気付かないことがあります。

#### 「家庭内」と「会食」で半数

市保健所によると、7月17日から8月16日までの市内に住んでいる人の感染者数は61人で、うち20歳代が46%、30歳代が11%と、若い世代が半数以上を占めています。



市ホームページ「新型コロナウイルス」に関する詳しくはQRコードへ

- 場所・原因別で感染経路を見てみると、「家庭内」や「会食」で半数となっています。密な空間での会食などでウイルスに感染し、家庭内や職場などで広がっていると思われます。経路が不明な感染者も増えていきます。感染予防には、次の3つを徹底して行動してください。
  - 人との距離を取る
  - 手を小まめに洗う
  - マスクを着用する
- 自分は大丈夫と思わないで、「感染しているかも」「誰かにうつすかも」という意識を持って行動しましょう。
- ◎保健予防課 (☎ 0942・30・9730、FAX 0942・30・9833)

### 令和2年 国勢調査

## 調査票はインターネットか郵送で

#### 幅広く活用される調査

10月1日(日)から、5年に1度の国勢調査が実施されます。日本の人口や世帯の実態を明らかにするため、国内に住んでいる全ての人・世帯が対象です。統計法で提出が義務となっているので、必ず回答してください。

調査結果は数値化され、将来の人口推計や防災などさまざまな施策の計画に役立てられます。企業や学術研究機関などでも広く活用されます。

#### かたり調査に注意

9月14日(月)から調査員が各世帯を訪問し、調査票を配布します。調査員は、総務大臣から任命された非常勤の国家公務員で、厳格な個人情報保護の守秘義務が課せられています。

調査員を装い、皆さんの個人情報を出さずとする訪問や電話、メールに注意してください。調査員は顔写真入りの調査員証を身につけているので確認してください。電話やメールを

使った調査はありません。不審に思ったら、回答せずに市実施本部へ連絡してください。

インターネットで回答を

新型コロナウイルスの感染を予防し、安心安全を確保するため、できるだけ調査員と対面しない方法で調査を行います。説明はインターネット越しに行い、調査票はポストなどに入れます。対面が必要な場合は、感染を防ぐ距離を保ちます。調査票の回収は、接触を減らすためにインターネットか、郵送での提出を勧められています。インターネットを利用すると、パソコンやスマホで24時間いつでも簡単に回答できます。

提出期限

- インターネット9月14日(月)から10月7日(木)までに回答
- 紙の調査票10月1日(日)から7日(木)までに郵送

調査員に直接調査票の回収を希望する場合は、市実施本部へ連絡してください。

### 国勢調査の問い合わせ

国勢調査コールセンター

☎ 0570-07-2020

IP 電話：03-6636-9607

受け付けは8時～21時  
10月31日(木)まで

市ホームページ「令和2年国勢調査」へ



# もったいないの意識で身近な取り組みを

## 食品ロスとは

本来食べられるのに捨てられる食べ物のことを「食品ロス」といいます。家庭や店、工場からこみとして出る未開封の食べ物や食べ残し。農林水産省、環境省の平成29年度推計の国内の食品ロス量は612万tで、46%に当たる284万tが家庭から出ています。食品関連事業者から出る分も含めた食品ロス量は国民1人当たり、年間約48

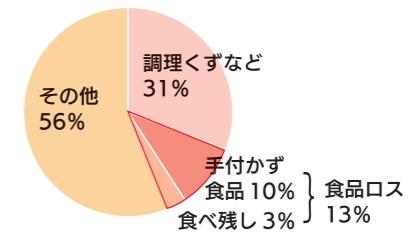
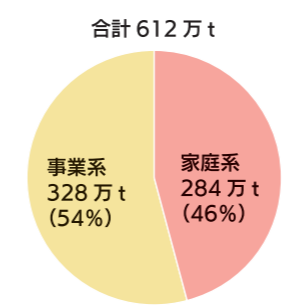
kgの食べ物を捨てている計算になります。これは1人当たりの米の年間消費量に相当します。

## 久留米市の現状

久留米市は、昨年度、環境省の支援を受け「食品ロス実態調査」を行いました。家庭から回収した燃やせるごみ約450kgを開封し、分類。食品ロスの割合を調べました。結果、食品ロス量は約57kgで、全体の約13%。うち10%が手付かずで廃棄され、中には、賞味期限内のものもありました。

一人一人がもったいないを意識して、余分に買い過ぎない、食べられる分だけ作るなど身近

平成29年度国内食品ロス推計量



久留米市の家庭から回収した燃やせるごみに占める食品ロスの種別割合

な取り組みで、食べ物を使い切ることが大切です。

## 「てまえどり」に協力を

食品ロスを減らすため、市はイベントや講習会などでPRを行っています。今回、市内のスーパーと連携して「てまえどり」キャンペーンを実施します。「てまえどり」とは、買ってすぐ食べる場合、陳列棚の手前にある消費期限・賞味期限などの期限の短いものや値引き商品を積極的に選んでもらうことです。キャンペーン期間は10月1日(日)から31日(土)まで、市内15のスー



すぐ消費する場合は陳列棚の手前にある期限の短いものを選びます

「てまえどり」キャンペーン実施について

詳しくはQRコード

④資源循環推進課 ☎0942-309143、FAX 0942-373344

## 令和元年度ごみ量報告

令和元年度のごみ総排出量は10万2,611 tでした。前年度と比べて672 t増加しています。昨年は、元号が変わったことで既製の印刷物の廃棄や消費税増税前の駆け込み需要、新型コロナの影響により家庭での食事が増えたことなどもあり、家庭ごみも増えています。

### 市内のごみ量とリサイクル率

年度	総ごみ量	1人1日当たり	リサイクル率
平成30年	101,939t	913g	22.4%
令和元年	102,611t	919g	21.9%

# くるめ学生通信

大学生が、久留米市の仕事を取材し、発信するシリーズです

53 市の財産を有効活用！ 今回の記者：久留米工業高等専門学校（専攻科1年）高梨瑞希さん



広告料で賄われている本庁舎1階にある案内板。画面に触れると各階の配置図が表示されます

先日、図書館西分館だった古い建物を売ったという記事を新聞で読みました。市が土地や建物を買ったことを知らなかったの、財産管理課の松木幸夫さんに話を聞きました。

## 久留米市が財産を売ってどういことですか

市は土地や建物などの不動産、有価証券、物品、基金などは市役所や図書館など、皆さんが利用する公共の施設や駐車場などの不動産です。施設を維持するには、光熱水費、清掃費や警備費など多くの費用がかかります。古くなると修繕費なども必要です。そこで、不要になった不動産は、別の用途に有効活用してもらうために売却します。もちろん代金は市の歳入となり、さまざまな市の事業に充てられます。

——どんな不動産を売っているのですか  
老朽化した木造の市営住宅を集合住宅に建て替えて、余った土地は更地にして売ります。こ

## 不動産を売る以外に財産を使って歳入になるものは？

力を入れているのが広告収入です。市役所入口の玄関マットやフロア案内板には、企業などの名前が入った広告があります。多くの市民の皆さんに見てもらえるので、広告主からはP



エレベーターの中にも広告があります



売りに出されている市有地

R効果が高まると喜ばれています。市も広告料が収入として入ってくるので、お互いが得する関係です。他にも、市のホームページや広報くるめ、ごみカレンダー、窓口で渡す封筒にも広告を載せています。令和元年度の広告収入は、約1000万円にもなります。市の財産は、市民の皆さんの貴重な財産なんです。しっかりと管理して有効に活用していかないといいけません。

——税金以外にも歳入があることを知って驚きました。市の財産をしっかりと維持管理しながら有効活用している財産管理課はまさに、「縁の下の力持ち」だと思います。

④広報戦略課 ☎0942-309119、FAX 0942-309702



■南島和夫さん(左)、飛永光さん  
南島さんは平成28年から北野校区まちづくり振興会会長。「陣屋川をよくする会」の会長としても地域に貢献してきました。飛永さんは平成27年から同振興会事務局長。充実した振興会だより発行の中心となるなど、地域活性化に日々奔走

## 2 地域ぐるみで守る 避難行動要支援者の命

進む取り組みから、地域共生社会実現の視点を考える

みんなで生きる みんなが活きる

### 豪雨災害のわずか2週間後に訓練

7月5日から降り出した記録的豪雨で、6日には市内ほとんどの地域に避難勧告・指示が出され、最大約1,400人が避難。市内各地に大きな爪痕を残しました。それから約2週間後の7月20日、甚大な被害を受けた北野校区で、避難を想定した図上訓練が開催されました。

同校区は陣屋川の流域にあり、以前から大雨が降ると多くの世帯が床上・床下浸水に。同校区まちづくり振興会の南島和夫会長は、「これまでも訓練をしてきて、地域で声を掛け合う文化は根付いていると思います。でも最近の雨はすごいから、やはり備えないと」と話します。

### 手助けが必要な人の避難をどうするか

市の地域福祉課と防災対策課の協力の下、各校区が主催する図上訓練の特徴は「避難行動要支援者名簿」を使うことです。災害時に自力や家族だけの避難が難しい人の「命を守る」ために必要な情報を登録したものです。訓練では自治会ごとにこの名簿と地図を広げて避難の動きを確認。名簿に登録された人の家に赤シール、名簿には載っていても手助けが必要だと思う人の家には黄色のシールを貼り付け、その人たちの支援者を決めて避難ルートを考えました。近くに住む要支援者の存在を共有し、日頃から声を掛け合うことが、いざというときに役立ちます。訓練に参加した男性は、水害当時外出先から家に戻れなかった経緯から、「自分一人が意識を持つだけでは、守れない命があると気付きました」と話しました。

訓練では、被災の状況を映した映像を放映。今年の水害で自宅が床上約80cmにも及ぶ浸水被害を受け、過去にも豪雨により2回の床上浸水被害を受けた飛永光さんは、訓練の結びに次のように話しました。「私は3回目の被災。被害の映像を見ると、少し心が折れそうになります。でも、今日流した映像を見て、被災者がすぐ近くにいるということを実感してほしいとも思います」。直近の災害の生々しい記憶や映像が、図上訓練の場に緊張感を与えていました。

◎地域福祉課 (☎0942・30・9174、FAX 0942・30・9752)

この事例はどれ?

地域共生社会の実現のために、13の取り組みの視点があります。掲載した取り組み事例がどれに当たるかを、黄色で示しました。

### 地域共生社会に向けた取り組み 13の視点

- ①つながりの構築
- ②見守り活動の推進
- ③誰もが集える場の拡充
- ④個別対応が必要な人への支援
- ⑤災害時要支援者への支援
- ⑥権利擁護の推進
- ⑦多機関連携の推進
- ⑧財源確保の推進
- ⑨地域における人材の育成
- ⑩コミュニティなどへの支援
- ⑪事業者などの地域貢献の促進
- ⑫福祉人材の養成と資質の向上
- ⑬福祉の理解を深める取り組み

市ホームページ「くるめ支え合うプラン」へ



詳しくはこちら



日本をイメージした着物(左)は、古来から縁起が良い柄とされる「東ね闘(のし)」の文様。キリバスをイメージした着物は、久留米絨の「本藍」を取り入れた松枝夫妻の共同作品

## 213の国と地域の着物が完成 故松枝哲哉氏による久留米絨の作品も

東京オリパラに向け、参加する国と地域をイメージした着物を作る「K・I・M・O・N・O・P・R・O・J・E・K・T」が設立して6年。7月24日に213着の着物が完成しました。代表の高倉慶応さんは「オリパラの延期は残念ですが、多くの人に支えられて、完成させることができました。これからがスタート。大阪万博まで頑張ります」と喜びを語りました。7月18日に急逝した重要無形文化財久留米絨技術保持者会の故松枝哲哉氏と松枝小夜子氏の作品も含まれています。



1人ずつスタッフが弁当を受け取りました

### 子どもたちも大喜び 大昌園が焼肉弁当を提供

丸昌焼肉の大昌園が、子ども食堂に弁当を無償提供しました。毎年8月29日の焼肉の日になんでボランティア活動を行っており、今年は市内の子ども食堂8カ所に約400個を配送。8月19日、合川福祉協議会主催合川子ども食堂に80個の弁当が届けられました。代表の江頭渡さんは「今日は想像以上のみんなの喜びに私たちも驚きました。このような取り組みはありがたい」と話しました。子どもたちは弁当を受け取り、笑顔で帰りました。

## 市政の動き

### 2学期がスタート

8月21日に市立小・中学校の2学期が始まりました。新型コロナウイルスの影響で夏休みが通常よりも3週間短縮に。朝、南小学校の児童は、「元氣よくあいさつをしながら登校しました。『友だちと会えるのが楽しみ』と笑顔も。始業式は各教室のテレビを使って開催しました。小西一夫校長は「皆さんと2学期を迎えられてうれしいです。9月の運動会に向け頑張りましょう」とモニター越しに話しました。

◎学校教育課 (☎0942・30・9217、FAX 0942・30・9719)



教室のテレビに映し出される校長先生の話を静かに聴きました

市ホームページ「学校教育課」へ詳しくはQRコード

### 初のドローン研修

8月24日、城島総合文化センターで市職員を対象に初のドローンの活用を学ぶ研修会を実施しました。防災や都市建設などの部署から65人が参加。ドローンはカメラを搭載した無人機で、災害現場や施設点検などでの活用が期待されています。防災や観光を想定した活用事例の紹介や、空撮の実演を行いました。参加した広報戦略課の養父芳博さんは「自然豊かな久留米の空撮映像をYouTubeで紹介するなど、市のプロモーションに活用したい」と話しました。

◎情報政策課 (☎0942・30・9060、FAX 0942・30・9708)



スマホと連動し手元で操作。リアルタイムに画像が届きます



一軒一軒記憶をたどりながらシールを貼ります



水害時の写真を投影し校区内の被害を共有



飛永さんの自宅周辺。大人の腰付近まで冠水しています



## 子育て支援講座 親子で忍者修行

■9月19日(日)10時～11時 ■久留米信愛短期大学 ■対象 2歳以上の未就学児と保護者 ■料金無料 ■定員 10組・先着順 ■申込開始 9月8日(火)10時 ■申込方法メール  
 ㊟同短期大学  
 (☎ 43・4532、FAX 43・2531、  
 ☐ shinaitsudoikurume-shinai.ac.jp)

## 街なかコンサート

■9月20日(日)14時～15時30分 ■シティプラザ 六角堂広場 ■内容 くるめシティープラスが「ブンバ・ポーン」「リトル・マーメイド」「アルセナール」など ■料金無料 ■定員 立ち見席 100人・当日先着順  
 ㊟くるめシティープラス事務局  
 (☎ 050・3559・1998、  
 ☐ info@kurumecb.com)



## スケートリンク無料開放デー

■9月22日(祝)9時～10時45分 ■スポガ久留米 ■対象 3歳以上 ■定員 50人・先着順 ■申込期間 9月8日(火)12時～20日(日)  
 ㊟市スケート連盟の藤崎さん  
 (☎ 34・7007、FAX 32・0894)

## 子どもの看病と手当ての仕方

■10月13日(火)10時～12時 ■久留米赤十字会館 ■対象 市内の小学生までの子どもの保護者 ■内容 子どもの病気、乳幼児の心肺蘇生法、異物除去などの実技指導 ■料金無料 ■定

員 15人・抽選 ■申込締切 9月24日(日) ■申込方法 住所、氏名・ふりがな、年齢、電話番号、参加日時をはがき、ファクスで連絡  
 ㊟日本赤十字社福岡県支部  
 (☎ 815・8503 福岡市南区大楠3の1の1、☎ 092・523・1172、  
 FAX 092・521・2552)

## TLCクラブ(卓球)

■火曜 9時～13時 ■野中生涯学習センター ■会費月額 500円  
 ㊟同会の森永さん  
 (☎ 090・5720・4518、  
 FAX 0943・76・3675)

## 武装・殺陣アクションレッスン

■火曜 18時～21時 ■野中生涯学習センター ■対象 10歳～50歳 ■会費月額 3,000円  
 ㊟同会の内野さん  
 (☎ 090・9479・0922、  
 ☐ busow@softbank.ne.jp)

## 青桐会(フォークダンス)

■第1・2・4水曜 13時～15時 ■野中生涯学習センター ■会費月額 2,000円。入会費 1,000円  
 ㊟同会の大塚さん (☎ FAX 47・2964)

## アスリート倶楽部(社交ダンス)

■木曜 9時30分～15時 ■野中生涯学習センター ■会費月額 3,000円  
 ■申込方法 ファクス  
 ㊟同会の上野さん  
 (☎ 090・8476・6365、  
 FAX 80・5914)

## 写真クラブ写楽会

■第1・3土曜 9時～11時 ■野中生涯学習センター ■会費月額 2,000円  
 ■申込方法 ファクス  
 ㊟同会の野口さん (☎ FAX 34・9165)

## 楊名時気功太極拳

■金曜 19時～20時30分 ■野中生涯学習センター ■会費月額 2,000円。別途空調代 500円  
 ㊟同会の瀬戸さん  
 (☎ 090・3664・7192、  
 ☐ schiavo.show@gmail.com)

## ソーシャルダンスサークルロンド

■月3回土曜 13時15分～14時45分 ■野中生涯学習センター ■会費月額 3,000円  
 ㊟同会の木下さん  
 (☎ 0942・43・4762、  
 ☐ 080・5260・3777)

## ちくご路かわら版

久留米市と共に久留米広域市町村圏を形成する大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町のイベントなどを紹介します。

## 【大川市】ネット de 大川木工まつり

■10月10日(土)から18日(日)まで ■内容 今年ウェブ上でイベントを開催。家具の購入、木工体験、プレゼントなど  
 ㊟大川市インテリア課  
 (☎ 0944・85・5570、  
 FAX 0944・88・1776、  
 ☐ https://okawa-mokkoufes-pre.net/)

## クロスロードかわら版

久留米市と共に筑後川流域クロスロード協議会を構成する小郡市、鳥栖市、基山町のイベントなどを紹介します。

## 【小郡市】虚空蔵さん祭り

■9月13日(日)8時～15時 ■日吉神社  
 ㊟小郡市観光協会  
 (☎ 72・4008、FAX 80・0284)

## 日曜在宅医

9月6日 内科		
木下医院	南薫西町	32-4625
くらたクリニック	長門石	35-5543
はるた医院	南	22-8100
小郡三井医師会 休日診療センター	小郡市	72-5534
富田病院	城島町	62-3121
国武医院	大木町	0944-32-1105
児玉医院	大川市	0944-86-2373
外科		
くるめ病院	新合川	43-5757
神代病院	北野町	78-3177
福田病院	大川市	0944-87-5757
吉村病院	田主丸町	0943-72-3131
小児科		
吉永小児科	本町	33-2098
原田小児科内科医院	田主丸町	0943-73-0195
眼科		
山下眼科医院	筑後市	53-2225
耳鼻科		
江崎耳鼻咽喉科医院	筑後市	53-2347
歯科		
しぶえ歯科・小児歯科クリニック	北野町	78-2010
産婦人科		
久留米総合病院	榎原町	33-1211

※平時の診療時間や災害時の開閉は各医療機関にお問い合わせください  
 ※医療機関が変わる場合があります。変更は市ホームページ「日曜在宅医」で確認してください

9月13日 内科		
亀尾医院	荒木町	26-5151
田中内科クリニック	中央町	32-2655
松尾内科医院	国分町	22-0148
小郡三井医師会 休日診療センター	小郡市	72-5534
安本病院	三瀬町	64-2032
うすい内科・循環器科	うきは市	75-2260
外科		
まつもと医院	上津	22-8181
清水整形外科医院	三瀬町	64-5335
高木病院	大川市	0944-87-0001
よしはら医院	大川市	0944-87-2711
田主丸中央病院	田主丸町	0943-72-2460
小児科		
井上医院	榎原町	32-3064
山下こどもクリニック	小郡市	41-7400
眼科		
しらお眼科クリニック	野伏間	51-4100
耳鼻科		
たなか耳鼻咽喉科医院	小郡市	72-3387
歯科		
首藤歯科矯正歯科医院	大善寺町	26-3343
産婦人科		
渡辺レディースクリニック	国分町	21-1103

9月20日 内科		
久留米南病院	荒木町	26-0100
下津浦内科医院	東町	36-0620
筒井医院	花畑	32-4114
丸山病院	小郡市	73-0011
小郡三井医師会 休日診療センター	小郡市	72-5534
富田病院	城島町	62-3121
安本病院	三瀬町	64-2032
一ノ瀬医院	大川市	0944-88-1830
坂本内科医院	うきは市	0943-75-2393
外科		
三原医院	瀬下町	32-2509
福田病院	大川市	0944-87-5757
原鶴温泉病院	うきは市	0943-75-3135
小児科		
河野小児科	国分町	21-3219
眼科		
杉田眼科医院	国分町	22-2020
耳鼻科		
ちぢわ耳鼻咽喉科医院	広川町	0943-32-0144
歯科		
岡歯科医院	榎原町	35-1184
産婦人科		
宮原クリニック	国分町	22-3011

9月21日(祝) 内科		
花畑病院	西町	32-4565
井上クリニック	本山	51-0050
井上内科医院	大善寺南	51-3380
小郡三井医師会 休日診療センター	小郡市	72-5534
安本病院	三瀬町	64-2032
緒方クリニック	田主丸町	0943-72-1771
外科		
日高大腸肛門クリニック	東合川	44-7737
高木病院	大川市	0944-87-0001
田主丸中央病院	田主丸町	0943-72-2460
小児科		
福田こどもクリニック	宮ノ陣	46-6000
眼科		
久留米大塚眼科クリニック	津福本町	36-8200
耳鼻科		
立石医院	大牟田市	0944-54-3260
歯科		
長沢歯科医院	御井町	43-6595
産婦人科		
みやはら産婦人科医院	日吉町	33-3331

9月22日(祝) 内科		
つむら診療所	青峰	43-9720
いわい内科胃腸科医院	上津	22-0123
西村医院	長門石	32-8712
小郡三井医師会 休日診療センター	小郡市	72-5534
富田病院	城島町	62-3121
上田内科胃腸科医院	うきは市	0943-77-3588
外科		
猿渡整形外科医院	国分町	21-8866
福田病院	大川市	0944-87-5757
浮羽クリニック	うきは市	0943-77-7111
小児科		
つむら診療所	青峰	43-9720
眼科		
久留米おの眼科医院	東町	46-7724
耳鼻科		
しろうず耳鼻咽喉科クリニック	諏訪野町	36-3387
歯科		
二宮歯科医院	東町	32-7114
産婦人科		
みやじまクリニック	大善寺町	51-3188

全日曜、祝日		
外科	聖マリア病院	津福本町 35-3322
外科	新古賀病院	天神町 38-2222
内科・外科	嶋田病院	小郡市 72-2236

夜間・休日の子どもの急な病気やケガで心配なときは  
**小児救急医療電話相談へ**  
 ■平日 19時～7時、土曜は12時から、日曜・祝日は24時間受け付け  
 ■プッシュ回線・携帯電話 #8000 ■ダイヤル回線 37-6116

※休日当番薬局は久留米三井薬剤師会ホームページへ

令和2年 久留米商工会議所  
**Theプレミアム**  
 商品券が使えます!

「適正な外壁塗装」「適正な価格」で  
 お悩みの方、当社が  
 解決致します!

見積無料  
 まずはお気軽にご相談を!

MP (株)マツダペイント  
 〒839-0801 福岡県久留米市宮ノ陣2丁目2-10  
**0120-27-1116**

基本工事費込価格  
**33坪 75万円** (税抜)

①足場・ネット養生 ②高圧洗浄 ③ひび割れ補修  
 ④塗装(外壁・軒天井・波風板・雨樋・水切り鉄板・庇鉄板・フード・雨戸・戸袋・幕板)  
 ⑤産業廃棄物運搬処理 ※産業廃棄物運搬処理の許可を持っている業者と提携しております。

平成29年度 久留米市 優良施工業者として表彰を受けました!

☎ 0942-30-5891 営業時間:10時~19時 定休日:日曜日

「情報ほっとライン」は裏表紙から始まりです

救急車を呼ぶか、病院に行くか迷ったときは救急電話相談・医療機関案内  
 フッシュ回線#7119または☎092・4710099へ。24時間受け付け

## みづま総合体育館

☎ 65・1115、FAX 65・1160  
✉ miduma@shinko-sports.com

### 城島バドミントン体験

■9月14日(月)18時～19時30分  
■城島体育館 ■対象小学生 ■料金 880円 ■定員5人・先着順

### 健康スポーツ教室

■9月16日(水)10時～12時 ■対象 20歳以上 ■内容卓球、ソフトバレーなど ■料金 500円 ■定員 10人・先着順

◆ ◆ ◆  
いずれも申込開始は9月8日(火)9時。申込方法は電話、ファクス。

## 三瀧生涯学習センター

☎ 64・3020、FAX 64・4687  
✉ m-bunka@city.kurume.fukuoka.jp

### 消しゴムはんこ作り教室

■10月27日(火)13時30分～15時  
■料金 200円



### みづま刺し子のブローチ作り

■10月28日(水)14時～15時30分  
■料金 1,000円

◆ ◆ ◆  
いずれも定員は10人・抽選。申込締切は10月1日(日)。申込方法は電話、ファクス。託児あり。

## 募集

### 任期付短時間勤務職員

■職種・人員スクールソーシャルワーカー・1人 ■資格昭和32年4月2日以降に生まれ、社会福祉士か精神保健福祉士の資格を持つ人 ■雇用期間採用日から令和5年3月31日まで。更新あり ■勤務時間週5日、30時間 ■給与月額16万7,458円。期末・通勤手当などあり ■選考方法書類審査、面接。申込書は申込先、市ホームページに準備  
☎教育部総務 (☎ 30・9213、FAX 30・9719)

### 久留米シティプラザ職員

■職種・人員①舞台照明の操作管理など・1人 ②施設の利用調整など・2人 ■資格昭和30年4月2日以降に生まれ、実務経験がある人。①は舞台照明に関する専門学校を卒業した人も可 ■雇用期間 11月1日から来年3月31日まで。更新あり ■勤務時間週5日、38時間45分 ■給与例：月額22万8,100円(大卒、経験年数6年) ■試験日 10月6日(火) ■選考方法書類審査、面接 ■申込期間 9月8日(火)～28日(月)。申込書は申込先、本庁舎1階総合案内、各総合支所地域振興課、各市民センター、市ホームページに準備  
☎同プラザ総務課 (☎ 36・3081、FAX 36・3087)

### 市社会福祉協議会非常勤職員

■職種・人員日常生活自立支援専門員・1人 ■資格普通自動車運転免許、社会福祉士か精神保健福祉士の資格を持つ人 ■雇用期間採用日から来年3月31日。更新あり ■勤務時間週5日、35時間 ■給与月額16万4,567

円。期末・通勤手当などあり ■選考方法面接 ■申込締切 9月15日(火) ■申込方法履歴書、運転免許証と社会福祉士か精神保健福祉士資格登録書の写しを送付  
☎同協議会 (☎ 34・3035、FAX 34・3090)

### 防衛医科大学校・防衛大学校

■コース防衛医科大学校①看護科、②医学科。③防衛大学校 ■資格日本国籍を持ち、来年4月1日時点で高卒以上で20歳以下の人 ■試験日 10月①17日(土)、②24日(土)、25日(日)。③11月7日(土)、8日(日) ■申込締切 10月①1日(日)、②7日(水)、③22日(水)  
☎自衛隊福岡地方協力本部 久留米地域事務所 (☎ FAX 38・1616)

### 県立久留米高等技術専門学校

■コース・人員①介護サービス科、②パソコン初級科、③パソコン初級・中級連続養成科、④WEBクリエイター養成科・①30人、②③25人、④20人 ■資格ハローワークの受講あっせんを受け、関係職種に就職を希望する人 ■試験日①9月25日(金)、10月②8日(水)、③9日(金)、④12日(月) ■選考方法学科試験、面接 ■申込締切 9月①16日(水)、②～④30日(水)。申込書はハローワークに準備。①③は託児あり  
☎同校 (☎ 32・8795、FAX 32・8793)

## 保健

### 子育て教室

【プレパママ教室】■10月①4日(日)、②25日(日)。各9時30分～12時、13時30分～16時 ■南部保健センター ■対象市内に住んでいる妊婦と

パートナー ■内容沐浴実習、妊婦体験、保健師の講話 ■料金無料 ■定員各10組・先着順 ■申込開始 9月①9日(水)、②30日(水)。各8時30分 ■申込方法住所、氏名、電話番号、希望日時を連絡

【離乳食教室】■10月①8日(水)、②22日(水)。各10時15分～11時30分 ■①えーるピア久留米 ②三瀧生涯学習センター ■対象市内に住んでいる今年①4・5月、②4～6月生まれの乳児の保護者 ■内容栄養士の講話など ■料金無料 ■定員各12人・先着順 ■申込開始 9月①15日(水)、②29日(水)。各8時30分  
☎子ども子育てサポートセンター (☎ 30・9731、FAX 30・9718)

### 子育て無料相談

対象は就学前の乳幼児。身体計測、栄養・子育ての悩みに保健師、助産師、保育士などが対応。

【コスモすまいる北野】■10月6日(火)13時30分～15時 ■定員9組・先着順 ■申込開始 9月23日(水)8時30分  
☎北野総合支所保健師事務所 (☎ 23・1307、FAX 78・6482)

【えーるピア久留米】■10月7日(水)9時50分～11時40分 ■定員15組・先着順 ■申込開始 9月23日(水)8時30分  
☎子ども子育てサポートセンター (☎ 30・9302、FAX 30・9718)

## 福祉

### 健康出張講座

■対象市内に住んでいる65歳以上の団体 ■内容健康づくりや介護予防の講話、実技 ■料金無料 ■定数150回・先着順。1団体2回まで ■申込締切開催希望日の4週間前。会場の

確保・使用料などは利用団体が負担  
☎市生きがい健康づくり財団 (☎ 40・8756、FAX 45・5539)

### 敬老祝金・記念品を届けます

■対象 9月1日時点で1年以上本市に住民登録している、来年4月1日に100歳以上の人 ■内容 100歳、110歳の人には祝い金と記念品を職員が届け、101歳以上の人には記念品を郵送  
☎長寿支援課 (☎ 30・9207、FAX 36・6845)

### 重度障害者医療証の更新

精神障害を除く同医療証の有効期限が9月30日(水)の人に、新しい医療証を9月中旬ごろに送付します。更新の手続きは不要です。  
☎医療・年金課 (☎ 30・9034、FAX 30・9107)

### ステップ運動

■来年3月までに各16回 ■対象市内に住んでいる65歳以上の人 ■内容介護予防の講話、運動 ■料金無料 ■定員各20人・抽選 ■申込締切 10月開始分9月18日(金)、11月開始分10月2日(金)  
【シティプラザ】■10月14日からの水曜14時～15時10分 ■定員12人  
【田主丸保健センター】■10月16日からの金曜10時～11時10分  
【市民温水プール】■10月16日からの金曜14時～15時10分  
【野中生涯学習センター】■10月20日からの火曜10時～11時10分 ■定員15人  
【久留米アリーナ】■10月21日からの水曜10時～11時10分 ■定員18人  
【三瀧生涯学習センター】■10月27日からの火曜14時～15時10分  
【荘島体育館】■11月2日からの月

曜9時30分～10時40分  
【総合福祉会館】■11月4日からの水曜10時～11時10分 ■定員18人  
【ふれあい農業公園】■11月5日からの木曜10時～11時10分  
【弓削コスモス館】■11月5日からの木曜14時～15時10分  
【南部保健センター】■11月10日からの火曜10時～11時10分  
☎長寿支援課 (☎ 830・8520 住所記入不要、☎ 30・9207、FAX 36・6845)

## お誘い

### 産前産後うつ座談会

■9月16日(水)10時30分～11時30分 ■くるるん ■対象産前産後うつの人 ■料金 500円 ■定員 5人・先着順 ■申込開始 9月8日(火)  
☎産前産後うつプロジェクトの 池田さん (☎ 090・9062・7421、✉ utsuutsuokaachan@gmail.com)

### 個人事業主向け 初めての会計ソフト講座

■9月18日(金)13時30分～16時 ■久留米ビジネスプラザ ■対象個人事業主、新規開業予定の人 ■料金無料 ■定員 20人・先着順 ■申込期間 9月8日(火)9時～15日(火)  
☎久留米商工会議所税務相談所 (☎ 33・0211、FAX 37・5800)

### 認知症カフェ運営セミナー

■10月11日(日)14時～16時30分 ■シティプラザ 大会議室 ■内容講話「地域のこれからの居場所づくりについて」 ■料金 500円 ■定員 100人・抽選 ■申込締切 9月30日(水)  
☎久留米健康くらぶ (☎ FAX 35・0212、✉ kenkou@117fureai.org)

## 50代からのリフォーム

古いキッチンと新しいキッチン。使いやすさが全然違う。  
古いお風呂と新しいお風呂。温かさが全然違う。  
毎日のことだから…。



創業113年の信頼と実績

サカモトリビング  
ホームセンターサカモト隣  
福岡県久留米市東合川2丁目8-1  
営業時間 09:00-17:00  
火曜日定休(土日祝も営業)  
☎0942-27-9700

株式会社日本フェニックス  
フェニックスホール 玉泉院  
ご家族の想いを大切に 真心こめて承ります。  
無料事前相談承ります。  
フェニックスホール玉泉院では、「事前相談」を行っております。いざという時にあわてることなく儀式が執り行われるよう、お葬式に関する不安・疑問など、ささいなことでもお気軽にお問い合わせください。  
☎0942-30-8111 久留米市津福今町590  
フェニックスホール 玉泉院 検索



男女平等推進センター

☎ 30-7800、FAX 30-7811  
✉ danjo-c@city.kurume.fukuoka.jp

ワークライフバランス講座

■10月3日(出)14時～16時 ■内容講演「GO TO ワークライフバランス」(講師=東京大学教授・瀬地山角氏) ■料金無料 ■定員50人・先着順 ■申込開始9月8日(火)9時30分。託児・手話通訳・要約筆記の申込締切は開催日の7日前

女性の起業応援セミナー

■10月3日から11月28日までの土曜10時～16時。5回 ■対象起業したい女性 ■内容起業に向けての心構え、ビジネスプランの構築など ■料金無料 ■定員15人・先着順 ■申込開始9月8日(火)9時30分。申込書は市ホームページに準備。託児・手話通訳・要約筆記の申込締切は開催日の7日前

リフレッシュブックタイム

■10月9日(金)10時～11時、11時20分～12時20分 ■対象6カ月以上の未就園児の保護者 ■料金無料 ■定員各5人・抽選 ■申込締切9月25日(金) ■申込方法希望時間を連絡。託児あり

本庁舎の空調設備工事に伴うお知らせ

本庁舎北側道路の夜間通行止め

本庁舎屋外空調設備の入れ替え工事で大型クレーンを設置するため、本庁舎北側の道路が通行止めになります。■10月5日(月)から12月下旬までの21時～翌6時  
☎ 30-9233、FAX 30-9707

指定駐車場の案内

本庁舎北側の市庁舎駐車場に大型クレーンを設置するため、市庁舎駐車場の台数が制限されます。満車時は、指定駐車場を利用してください。本庁舎の用務先で駐車券を確認を受けると、1階の総合案内、10階の財産管理課、保健所4階の総務医業

DV・性暴力被害者支援地域サポーター養成講座

■10月11日から11月29日までの日曜10時～16時。7回 ■内容支援団体や行政、医師の講話など ■料金無料 ■定員22人・抽選 ■申込締切9月20日(日) ■申込方法住所、氏名、電話番号、所属団体、志望動機、託児・手話通訳・要約筆記の有無を連絡

児童センター

☎ 35-3809、FAX 35-3835  
✉ jidou@piif.k-ikigaikenko.jp

親子ピラティス体験

■9月24日(木)10時30分～11時30分 ■対象0歳児と保護者 ■料金無料 ■定員12組・先着順 ■申込開始9月8日(火)10時 ■申込方法電話、ファクス、メール、市ホームページ

市民温水プール

☎ 21-2040、FAX 21-1140  
✉ kurume-pool@shinko-sports.com

9月の体験教室

■内容体ケア、ボディメイク、ヨガなど ■料金500円 ■申込開始9月8日(火)10時  
開催日時、定員、申込方法などの詳細は市ホームページに掲載。

ふれあい農業公園

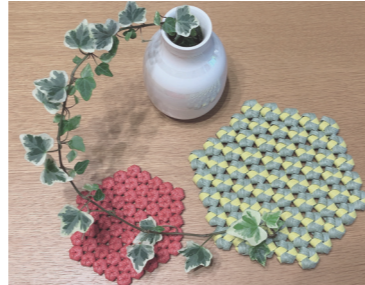
☎ 47-6065、FAX 47-6068  
✉ agri@city.kurume.fukuoka.jp

手作り麦みそ教室

■10月3日(出)10時～11時、11時10分～12時10分 ■定員各16人・抽選 ■申込締切9月24日(木)。みその持ち帰りあり

クラフトバンドで花結びのコースター作り

■10月6日(火)13時～16時 ■定員12人・抽選 ■申込締切9月22日(水)



いずれも料金は1,000円。申込方法は電話、ファクス、はがき(☎ 839-0836 草野町吉木 33)。

筑邦市民センター多目的棟

☎ 27-4210、FAX 26-1246  
✉ tikuta@piif.k-ikigaikenko.jp

ヨガ教室

■10月2日から12月25日までの金曜①9時45分～10時45分、②11時～12時30分。各12回 ③10月7日から12月16日までの水曜19時～20時30分。9回 ■内容①シニアヨガ ②ヨガ ③パワーヨガ ■料金①③6,000円 ②7,500円 ■定員各20人・先着順 ■申込開始9月8日(火)9時30分 ■申込方法電話、ファクス

久留米アリーナ

代表 ☎ 39-7371、FAX 39-6271  
✉ https://shisetsu.mizuno.jp/m-7411

卓球教室

■10月1日から12月24日までの木曜①9時30分～11時30分、②12時30分～14時30分。各10回 ■対象18歳以上の①経験者、②初心者 ■料金6,620円 ■定員各60人・先

間交流、人権などの教養講座 ■料金無料 ■申込締切9月14日(月)



家庭教育学級

■10月22日から来年2月25日までの月1回木曜10時～12時 ■対象未就学児の保護者 ■内容育児、健康、人権、創作などの講座。親子講座あり ■料金無料。材料代など実費負担あり ■申込締切9月16日(水)。託児あり

いずれも定員は20人・抽選。申込方法は電話、ファクス、電子申請。

城島げんきかん

☎ 62-2122、FAX 62-2148  
✉ https://ssk-joujima-com.ssi-xserver.jp/contact/

10月開講教室

【3カ月コース】 ■内容ピラティス、フラダンス、ヨガなど  
【6カ月コース】 ■内容ハニーズダンス、英会話、書道  
いずれも対象、料金、定員、申込方法など詳細はホームページに掲載。先着順の申込開始は9月8日(火)9時。

田主丸生涯学習センター

☎ 0943-74-4000  
FAX 0943-73-4030  
✉ t-bunka@city.kurume.fukuoka.jp

生け花教室

■10月23日から来年2月26日までの第4金曜19時～21時 ■料金月

額1,000円。季節で変更あり ■定員20人・抽選



フラワーアレンジメント教室

■10月7日から来年2月3日までの第1水曜19時30分～21時 ■料金月額2,000円 ■定員15人・抽選

いずれも申込期間は9月7日(月)～18日(金)。申込方法は電話、ファクス。

ゆうゆう

☎ 65-1200、FAX 65-1219  
✉ http://www.heartful-volunteer.net/contact/index

健康作り教室

■9月16日(水)13時20分～14時50分 ■内容理学療法士の講話「塩分糖分脂分の上手な摂り方」、食前食後体操など ■定員24人・先着順

ベビーマッサージ

■9月17日(木)10時30分～11時30分 ■対象乳幼児と保護者 ■料金200円 ■定員20組・先着順

いずれも申込開始は9月8日(火)10時。申込方法は電話、ファクス。

10月開講教室 6カ月コース

■内容①脳と体の体操 ②太極拳 ③脳トレ筋運動 ■申込開始9月①②8日(火)、③10日(木)。各10時  
開催日、定員、申込方法など詳細は申込先に連絡。

着順 ■申込期間9月11日(金)9時～30日(水) ■申込方法印鑑、料金を窓口を持参

9月の体験会

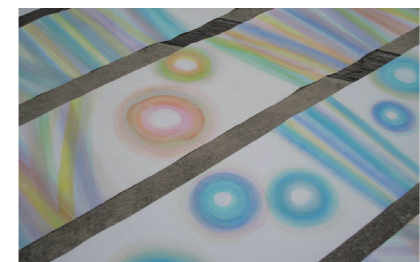
■内容フラダンス、チアダンス、リズムトレーニングなど ■料金500円 ■申込開始9月9日(水)9時 ■申込方法トレーニング室(☎ 46-8411、FAX 46-8412)に連絡  
対象、定員など詳細は申込先に確認。

山辺道文化館

☎ FAX 47-3015  
✉ yamabe1@ktarn.or.jp

絵画と掛け軸

■9月12日(出)から27日(日)までの10時～17時。27日は16時まで ■内容布を使った作品など約30点展示 ■料金無料



北野生涯学習センター

☎ 78-2308、FAX 78-7283  
✉ k-bunka@city.kurume.fukuoka.jp

初心者向けのフランス語

■10月5日から26日までの月曜10時～12時 ■料金無料 ■申込締切9月14日(月)。託児あり

北野シニア大学

■10月1日から来年2月18日までの第1-3木曜10時～12時 ■対象60歳以上 ■内容地方防災、世代

九州心塗代表 岡畑 健太

## 雨もりでお困りの方へ

雨漏れ工事  
防水工事  
塗装工事  
板金工事  
瓦工事

雨もり・防水の119番

九州心塗までご連絡ください!

【広告】

心を込めて、塗りました。

**九州心塗**  
Kyushu Shinto

日本塗装名人社認定店

TEL 0942-43-6660

※お急ぎの際は:090-8417-0762  
電話受付:8:30～20:00(不定休)

久留米市山川追分1-5-16  
http://www.kyushushinto.com/

塗装職人さん大募集! 詳しくはお問い合わせください!

【福岡県知事許可(般-31)第104753号】

広くるめを読んだ方限定 施工料金8%OFF 広告有効期限:令和2年9月末まで

## 市景観賞・絵画募集

■対象市内に住んでいるか通学している小・中学生 ■内容テーマ「わたしのまちの絵になる風景」 ■申込期間 9月8日(火)～来年1月15日(金)。申込書は申込先、市ホームページに準備  
◎都市計画課  
(☎30・9083、FAX30・9714)



## 相談

### 暮らしの無料相談

■9月9日(火)、10月14日(火)。各10時30分～15時 ■みんくる ■内容相談などの悩みに公証人などが対応 ■定員9組・当日先着順  
◎NPO法人ワンストップリーガルネット事務局 (☎080・3962・7126、FAX31・5336)

### 養育費電話相談

■9月12日(出)10時～16時 ■内容司法書士が対応 ■相談電話番号0120・567・301  
◎県青年司法書士協議会の轟木さん (☎0949・28・9755、FAX0949・28・9756)

### 外国人のための無料相談

■9月19日(出)13時～16時 ■くるめりあ六ツ門 ■内容国際結婚や帰

化、国籍問題などの悩みに行政書士が対応。多言語通話通訳サービスあり ■料金無料 ■申込締切9月18日(金)16時30分  
◎久留米観光コンベンション国際交流協会  
(☎31・1717、FAX31・3210)

### 成年後見無料相談

■9月26日(出)13時～15時 ■みんくる ■対象高齢者、障害のある人 ■内容財産管理、生活の悩みに社会福祉士や行政書士などが対応 ■申込方法申込先に連絡  
◎権利擁護支援センターふれあい会の辻さん (☎080・1766・3040、FAX35・2744)

## 催し

### リサイクル宝の市

■展示期間9月20日(日)までの9時30分～16時30分。20日は15時まで ■宮ノ陣クリーンセンター 環境交流プラザ ■対象市内に住んでいる人 ■内容不用になった家具などを抽選で販売 ■申込期間9月12日(出)～20日(日)15時 ■申込方法窓口。抽選は20日(日)16時～  
◎資源循環推進課  
(☎30・9143、FAX37・3344)

### 子育て応援セミナー

■10月1日(日)10時～11時30分 ■えーるピア久留米 ■対象未就学児の保護者 ■内容講演「心がカゼをひくととき」(講師=西九州大学非常勤講師・吉村春生氏) ■料金無料 ■定員20人・先着順 ■申込開始9月8

日(火)9時。託児は12人・先着順  
◎三瀨子育て支援センター  
(☎FAX65・2255)

### 親子リズム運動

■9月25日(金)10時30分～11時30分 ■市民温水プール ■対象1歳以上の未就学児と保護者 ■料金無料 ■定員20人・先着順 ■申込開始9月8日(火)9時  
◎荒木子育て支援センター  
(☎FAX26・0064)

### 県緑化センターの催し

【初心者向けガーデニング教室】 ■10月22日(日)、23日(金)9時30分～15時30分 ■定員15人・抽選



【秋の音楽会】 ■10月11日(日)14時～15時 ■定員70人・先着順

【観葉植物と多肉植物の育て方】 ■10月17日(出)13時30分～16時 ■定員20人・先着順

いずれも料金は無料。申込期間は9月8日(火)8時30分～10月9日(金)。  
◎同センター (☎0943・72・1193、FAX0943・72・1558、<https://www.ryoku-cen.net/>)

### 人権セミナー

■10月①2日(金)、②16日(金)、③11月13日(金)、各18時30分～。④12

月12日(出)10時～ ■①三瀨生涯学習センター ②③えーるピア久留米 ④そよ風ホール ■内容講演①「同和問題」、②「子ども」、③「ハンセン病」。④2016年日本アニメ映画「聲の形」上映 ■料金無料 ■定員各100人・先着順 ■申込開始9月8日(火)9時。申込書は市ホームページに準備  
◎生涯学習推進課  
(☎30・7970、FAX30・7971)

### 婚活 久留米水引細工体験

■10月11日(日)10時30分～16時 ■北野生涯学習センター ■対象20歳～49歳の独身 ■料金3,000円 ■定員男女各12人・抽選 ■申込締切9月23日(火)。申込書は本庁舎1階行政資料コーナー、各総合支所地域振興課、各市民センターに準備  
◎久留米広域市町村圏事務組合  
(☎46・5510、FAX46・5567、<mailto:kjimkyok@kouiki.kurume.fukuoka.jp>)



### 家族介護教室

■10月①10日(出)10時～13時、②18日(日)10時～12時 ■えーるピア久留米 ■対象家族介護をしている人など ■内容①調理実習で食べやすい食材や工夫の仕方を学習 ②認知症の種類と症状、接し方 ■料金無料 ■定員各15人・先着順 ■申込期間9月

8日(火)10時～14日(日)  
◎市介護福祉サービス事業者協議会  
(☎35・1525、FAX46・5841)

### みまもり会員養成講座

■10月16日(金)、19日(日)、21日(火)、23日(木)、29日(日)10時～15時。30日(金)10時～13時 ■えーるピア久留米 ■対象自宅で子どもの預かり、保育園への送迎などのボランティア活動ができる人 ■内容救急救命の実技、子どもの心と体や小児看護、栄養について講話 ■料金300円 ■定員20人・先着順 ■申込期間9月8日(火)10時～10月9日(金) ■申込方法住所、氏名、電話番号を連絡  
◎ファミリー・サポート・センターくるめ (☎37・8888、FAX37・8822、<mailto:famisapo@ktarn.or.jp>)

### 高齢者向け仕事・ボランティア合同説明会

■10月21日(火)11時30分～12時50分、13時40分～15時 ■シティプラザ 展示室 ■対象60歳以上 ■料金無料 ■定員各40人・先着順 ■申込開始9月8日(火)10時  
◎県70歳現役応援センター久留米オフィス  
(☎36・8355、FAX36・8356)

### 生涯学習センター

☎30・7900、FAX30・7911  
<mailto:elpia@piif.k-ikigaikenko.jp>

### チェス入門講座

■10月6日から27日までの火曜13時30分～15時30分 ■料金無料 ■定員8人・抽選

### スマートフォンカメラ活用講座

■10月13日から11月10日までの火曜10時～12時。4回 ■対象スマ

ホを持参できる人 ■料金1,500円 ■定員アンドロイド、 아이폰・各4人・抽選 ■申込方法スマホのメーカー名を連絡

いずれも申込締切は9月20日(日)。申込方法は電話、ファクス、メール、市ホームページ。託児は申込先に連絡。

### 環境交流プラザ

☎27・5371、FAX27・5443  
<mailto:myjclean@city.kurume.fukuoka.jp>

### 和布の端切れでブローチ作り

■9月28日(日)10時～11時30分 ■料金100円 ■定員15人・抽選 ■申込締切9月17日(日) ■申込方法電話、ファクス、メール、郵送 (☎839・0805 宮ノ陣町八丁島 2225)



### 人権啓発センター

☎30・7500、FAX30・7501  
<mailto:jinken@city.kurume.fukuoka.jp>

### 新たな人権に関する法律パネル展

■9月9日(火)から27日(日)までの9時30分～17時 ■内容2016年に施行された障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法に関するパネル32点展示 ■料金無料

## 広報クイズ

正解者の中から抽選で5人に図書カードを差し上げます。



5ページに関連の記事があります

## 〇〇〇〇データ

広報くるめはパソコンの専用ソフトで制作しています。どのようなデータにして印刷業者に渡しているのでしょうか。〇にカタカナを入れてください。

8月1日号の答え → 人力発電

【申込締切】9月23日(火)(必着)  
【申込方法】答え、住所、氏名、年齢、電話番号、紙面への要望や意見をはがき、メールで連絡。複数の応募は不可。なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます  
◎広報戦略課  
(☎830・8520 住所記入不要、<mailto:kouhou@city.kurume.fukuoka.jp>)

### 家族葬専門会館

メモリアルステージ

## ときの風

友の会会員募集中

月々の掛金は一切ございません

上記以外のプランもございます。詳しくはフリーダイヤルへお電話下さい。24時間受付中 ☎0120-24-0943

久留米北店 久留米市山川安屋敷3-12-50 久留米中央店 久留米市本町230-2 久留米南店 八女郡田川町大字藤田232-3 八女店 八女市蒲原735-1 ※広告有効期限9月末まで

安心プラン

会員価格 25万円 (税別)

一般価格 (税別) 35万円

棺・御骨壺・遺影写真・枕飾り・仏事セット・役所手続き代行・受付設備・ドライアイス・焼香設備・玄関飾り・御遺体搬送(10kmまで)

満足プラン

会員価格 45万円 (税別)

一般価格 (税別) 55万円

棺・御骨壺・遺影写真・枕飾り・仏事セット・役所手続き代行・受付設備・ドライアイス・焼香設備・玄関飾り・御遺体搬送(10kmまで)・果物一式・後飾り祭壇・司会進行・納棺の儀

全てのプランに霊柩車・斎場使用料・会場設営費・光熱費が含まれています。(1泊2日まで)

# これ、 てる!?! [33]

## 《北野町に鎮座する8体のえびす像》

北野天満宮の参道付近に8体のえびす像があります。天満宮の門前町として栄えていた時に商人たちが商売繁盛を願って建てたといわれています。建てられた時期はバラバラで、最も古いものは江戸時代の寛延元（1748）年。えびす像ごとに姿、帽子などが異なり、さまざまな顔を見ることができます。優しい表情を浮かべるえびすさんたちは北野町を見守っています。



## 情報ほっとライン

掲載している催しは新型コロナウイルスの影響で変更になる場合があります。問い合わせ先に確認してください

### お知らせ

#### 今月の納付（9月分）

【口座振替・納付書】■固定資産税、都市計画税、後期高齢者医療保険料・第3期分 ■国民健康保険料、介護保険料・第4期分 ■納期限9月30日(水)  
納付には、便利で安心な口座振替を利用してください。

#### 都市計画案の公開

■公開期間 9月10日(木)から24日(木)まで ■都市計画課 ■内容久留米小郡都市計画公園・緑地・風致地区の変更案。対象は正源氏・篠山・筑後川公園、リバーサイドパーク、正源寺・筑後川風致地区。内容に意見がある人は期間中に意見書を問い合わせ先へ  
☎都市計画課 (☎30-9083、FAX 30-9714)

#### 市営住宅などの入居者募集

■申込期間 9月8日(水)～15日(火)(消印有効)。申込書は申込先、本庁舎1階総合案内、各総合支所環境建設課、各市民センターに準備。電子申

請可

☎住宅政策課

(☎30-9086、FAX 30-9743)

#### コンビニ交付サービスの停止

【所得証明書】■9月19日(土)20時から20日(日)まで

【戸籍証明書】■9月20日(日)

☎市民課

(☎30-9747、FAX 30-9758)

#### 自殺対策計画

#### 推進委員会委員を募集

■対象市内に住んでいる人 ■内容同

計画の策定や推進への助言・提案など。謝金あり ■定員2人・選考 ■申込締切9月14日(月)。申込書は申込先、市ホームページなどに準備

☎保健予防課

(☎30-9728、FAX 30-9833)

#### シティプラザ臨時休館

9月23日(水)、24日(木)は全館停電と設備保守点検のため休館します。六角堂広場、駐車場も利用できません。

☎同プラザ

(☎36-3000、FAX 36-3087)

## 令和2年7月豪雨災害の支援

#### 就学援助

■対象被災して経済的に困っている国公立の小・中学校に通う子どもがいる世帯 ■申込方法印鑑、保護者の預金通帳、子どもの健康保険証、罹災証明書を申込先、田主丸・北野・城島・三瀬各教育事務所に持参  
☎学校保健課 (☎30-9273、FAX 30-9719)

#### 災害ごみの減免

9月14日(月)からクリーンセンターに災害ごみを持ち込む場合は、罹災証明書の提示が必要です。無料での受け入れは10月31日(土)まで。  
☎宮ノ陣クリーンセンター (☎27-5371、FAX 27-5443)  
☎上津クリーンセンター (☎65-3591、FAX 21-0302)